

第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

第1項（政策4） 健康に暮らすことができるようにします

めざしたい将来像

自らの健康に関心を持ち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
生きがい感を持っている人の割合	80.3%	80.7%	79.0%	76.5%	79%	80%
本人が健康であると思う人の割合	66.4%	64.3%	65.9%	66.6%	67%	70%
健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	—	—	1,044人	659人	1,100人	1,400人
ホームドクター（かかりつけ医）を持つ人の割合	—	—	56.5%	—	60.0%	65%
多様な世代と交流する機会のある人の割合	—	—	5.6%	4.5%	7%	10%

◆生きがいを持ちます

◇ 生きがい就労を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
11	シニア交流センターを活用し、高齢者の世代間交流や学習機会の場を充実します。 【高齢者支援課】	高齢者の生きがいづくりの場ができます。	平成 24 年度 10,337 人であったシニア交流センターの利用者を 15,000 人程度に増やします。	シニア交流センター管理運営事業（運営業務、施設維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	
12	介護支援ボランティア制度の普及啓発を図り、介護予防を推進します。 【高齢者支援課】	介護支援ボランティア制度に関する理解が高まり、社会参加や地域に貢献する高齢者が増えます。	平成 24 年度 169 人であった介護支援ボランティアの登録者数を毎年 400 人増やします。	介護支援ボランティア事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病気を予防し、早期に発見します

◇ 健康増進事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
13	運動による健康づくりの普及・啓発を図り、運動習慣をもつ市民が増えるよう、環境を整備します。 【健康推進課】	運動習慣をもつ市民が増加します。	平成 24 年度 1,284 人であった健康体操、生活習慣病予防教室等の受講者数を 1,400 人に増やします。	健康増進啓発事業（健康松戸 21 推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 健康診査事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
14	がん検診の実施方法や周知方法の改善に努め、がん検診を充実します。 【健康推進課】	がん検診への理解が高まり、検診を受ける人が増えます。	平成 24 年度 24.2%であったがん検診の受診率を 35%に上昇させます。	がん検診事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病気を治します

◇ 第1次、第2次救急体制を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
15	市立病院の建替えに伴い、夜間小児急病センターを整備します。 【地域医療課】	小児初期救急医療体制を継続的に維持します。	夜間小児急病センターを建設します。	夜間小児急病センター整備費負担金	26	
					27	
					28	
					計	

◆受療環境を整備します

◇ 国民健康保険を適正に運営します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
16	市民の健康意識を高めるため、健診の充実を図ります。 【国民健康保険課】	自らの健康状態が把握でき、受診率が向上します。	平成24年度29.8%であった健診の受診率を55%に上げます。	特定健康診査等事業（特定健康診査等業務、特定健康診査啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	
17	ジェネリック医薬品差額通知を送付するなどの普及啓発を行います。 【国民健康保険課】	ジェネリック医薬品が普及するようになり、医療費の削減につながります。	ジェネリック医薬品に変更した人の割合を増やします。	国民健康保険管理事業（管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策5） 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

めざしたい将来像

市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
日常生活に対して不安を感じていない人の割合	3.6%	4.0%	3.0%	3.5%	3%	3%
地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	—	16,827件	20,308件	24,345件	26,000件	29,000件

◆必要なときに介護が受けられます

◇ 介護予防サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
18	認知症についての普及啓発を行うなど、認知症対策を推進します。 【高齢者支援課】	認知症についての理解が高まります。	平成 24 年度 1,215 人であった認知症予防教室や講演会の参加者を 2,000 人程度に増やします。	介護予防普及啓発事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 地域で自立した生活を送れるように支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
19	障害者がワンストップで総合相談が受けられるよう、基幹相談支援センター機能の充実を図ります。 【障害福祉課】	障害者に対する相談支援が強化されます。	新規相談者数を増やします。	基幹相談支援センター等事業	26	
					27	
					28	
					計	
20	障害者の一般就労や障害者就労施設等における工賃向上の取り組みなど、障害者の就労を支援します。 【障害福祉課】	障害者の継続的な就労や、障害者就労施設等の工賃向上につながります。	平成 24 年度 53 件であった新規就労相談件数を増やします。	障害者就労支援事業（障害者就労支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆必要なときに生活の援助が受けられます

◇ 困窮時、災害者の生活を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
21	ハローワークとの連携強化、情報の共有化を図り、稼働年齢層で就労可能な被保護者に対して、効果的かつ効率的な就労支援を行います。 【生活支援一課、生活支援二課】	被保護者の割合（保護率）が減少し、生活保護費の削減にもつながります。	平成 24 年度 54 5人だった就労支援プログラム実施者数を大幅に増やします。	生活保護決定・実施事業（ケースワーク業務）	26	
					27	
					28	
					計	
22	生活保護の適正な実施を図るため、専従チームを組織し、不正受給防止対策を強化します。 【生活支援一課、生活支援二課】	生活保護が適正に実施されることで、不正受給を未然に防止できます。	平成 24 年度 220 件であった不正受給件数を減らします。		26	
					27	
					28	
					計	

◆必要なときに必要な人がサービスを受けられる体制を確立します

◇ 地域ケア体制を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
23	地域包括支援センターを拠点に、地域における高齢者支援の充実を図ります。【高齢者支援課】	高齢者支援体制が整備されます。	平成 24 年度 21,102 件であった総合相談件数を 26,000 件に増やします。	地域ケアシステム事業（地域包括支援センター関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	
24	災害時に備えるために、避難行動要支援者の避難支援体制を整備します。【地域福祉課、危機管理課】	避難行動要支援者の避難支援体制が確保されます。	全ての地区で災害時における要支援者の避難支援体制を構築します。	地域ケアシステム推進事業（避難行動要支援者避難支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆死者を弔います

◇ 斎場を適正に管理します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
25	北山市民会館及び斎場の老朽化による建て替え計画を検討します。【地域福祉課】	斎場の機能を維持します。	平成 28 年度までに建て替え計画のための基本調査を行います。	北山会館・式場管理運営事業（施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策6） 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします

めざしたい将来像

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	91.6%	90%	90%
就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	—	—	6.7%	7.09%	5% (No32参照)	5%
合計特殊出生率	1.28 (13年)	1.20 (19年)	1.29 (20年)	1.30	1.32	1.33

◆安心して出産します

◆健やかに子どもを育めるようにします

◇ 母子健康支援事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
26	子育て環境を把握するため、乳幼児健診の充実を図り、乳幼児の健康を保持します。 【子ども家庭相談課】	心身障害の早期発見や早期援助、虐待の予防や早期発見につながります。	未受診児への全戸訪問を行います。	乳幼児健康診査事業（1歳6ヶ月児健康診査業務、3歳児健康診査業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 療育支援事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
27	児童発達支援センターの特徴を活かし、地域における障害児支援を強化します。 【健康福祉会館】	子どもの発達に不安を持つ保護者が、安心して子育てができます。	相談支援事業所の利用件数を増やします。	こども発達センター管理運営事業（外来療育業務、通園保育業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 虐待の早期発見・対応をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
28	地域や行政が連携し、児童虐待の早期発見、早期対応を図ります。 【子ども家庭相談課】	児童虐待の予防を進め、深刻化を防ぎます。	母子保健事業と連携を図りながら活動し、児童虐待の予防を充実させます。	児童虐待等早期発見・対応事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 子育て支援サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
29	地域における子育て支援活動の促進を図ります。 【子育て支援課】	地域ぐるみで子育てを支援できるようになります。	子育て支援の拠点で情報発信や相談に対応した子育てコーディネータ事業を推進します。	地域子育て支援事業	26	
					27	
					28	
					計	
30	子どもが安心して過ごすことができる地域をつくります。 【子どもわかもの課】	子どもがのびのび遊べる地域をつくります。	小中高生の地域の活動場所の充実を図ります。	児童館管理運営事業（運営業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆家庭と仕事を両立できるようにします

◇ 保育所サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
31	児童の安全を確保するため、公立保育所の耐震化を図ります。 【保育課】	安心して子どもを預けられる施設が整備されます。	平成 24 年度 14 箇所であった耐震基準を満たす保育所を 17 箇所に増やします。	市立保育所関係事業(施設整備業務)	26	
					27	
					28	
					計	
32	待機児童の解消を図るため、民間保育所の誘致や小規模保育の拡充を図ります。 【保育課】	地域の保育需要に対応し安定した保育サービスが提供されます。	入所保留児童を含めた待機児童ゼロをめざします。	民間保育所関係事業（建設費補助金） 保育サービス多様化促進事業（小規模保育業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第4項（政策7） 市立病院として高度で良質な医療を提供します

めざしたい将来像

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
患者満足度	—	—	58.2%	70.7%	70%台	60%台
平均在院日数	18.3日	14.6日	13.7日	12.4日	12.0日	11.5日
紹介・逆紹介率	—	—	紹介 47.7% 逆紹介 30.3%	紹介 57.4% 逆紹介 73.1%	紹介 60%以上 逆紹介 60%以上	紹介 60% 逆紹介 30%
一般病床利用率	88.9%	81.1%	80.7%	76.5%	90%	90%
年間手術件数	5,167件	4,552件	4,319件	3,884件	4,550件	4,550件
経常収支比率	101.6%	98.6%	100.5%	98.4%	100%	100%

◆地域の中核的な病院としての機能を充実します

◇ 地域との医療連携を推進し、担うべき機能の充実を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
33	循環型地域医療連携を推進するための研修や医療提供の支援を行います。 【地域連携課】	患者さんにとって効果的な医療を提供できます。	平成24年度7回開催した地域医療機関等を対象とした研修会を10回程度開催します。	地域医療支援病院事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 病院の建て替えを推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
34	新病院を建設し安全安心な医療を提供します。 【建設事務局・経営企画課】	将来に渡り、松戸市民等の患者さんに対し、安全・安心かつ高度な急性期医療を提供します。	病院建設事業全進捗状況を100%にします。	新病院建設事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆患者主体の医療を推進します

◇ 医療体制の維持・質を向上します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
35	安定した医療体制を維持するため、医師、看護師、コ・メディカル等必要な人材を確保・育成します。 【市立病院総務課・東松戸病院総務課】	スタッフ一人ひとりが能力を最大限に発揮し、質の高い医療を提供します。	平成24年度12人であった臨床研修医の受入人数を14人程度に増やします。	医療従事者の確保事業 医療従事者の育成事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 病院事業と市民の協働事業を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
36	市民との協働事業を推進するため、ボランティアやNPOとの協力により来院者が利用し易くなるような環境を整備します。 【市立病院総務課、東松戸病院総務課】	地域と共存できる病院が実現します。	平成24年度65人であったボランティア活動者数を両病院合わせて70人程度に増やします。	ボランティア等市民活動の育成事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病院経営基盤の充実を図ります

◇ 病院経営の適切な運営をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
37	経営の自立化、安定化、経営基盤の強化を図るため、戦略的な経営マネジメントを確立させます。 【経営企画課】	自立した病院経営が実現し、赤字体質の改善が図られます。	医業収支比率を100%に向上させます。	経営改善の推進事業	26	
					27	
					28	
					計	